

九月定例岡山県議会は十日に開会し、二十八日まで、十九日間の日程で開かれました。
日本共産党県議団は、赤坂てる子県議が一般質問、森脇ひさき県議が討論に立ちました。詳細はホームページをご覧ください。



後期高齢者医療制度

健康診査無料化へ県の補助を

赤坂てる子県議が一般質問

後期高齢者医療制度の問題点を指摘し、凍結、全面的見直しを主張したうえで、同制度での健診について「公費で自己負担なしで従来通り健康診査ができるようにすべきです」と求めました。

石井知事は「国の補助制度の内容など踏まえながら、来年度の予算編成の過程で検討したい」と答えました。
倉敷チボリ公園について赤坂県議は、「五年間で三十五億円を投入し、単年度赤字にする」として新たな税金（補助金）投入を押し切った石井知事自身の責任について改めて問い、「その責任を明確にしないまま『倉敷が主体的に』というのには無責任の極みではないか」と厳しく質しました。

質問項目

- ①「後期高齢者医療制度」について
- ②「介護保険」について
- ③心身障害者医療費公費負担制度について
- ④妊産婦の健康確保について
- ⑤教育条件の充実について
- ⑥チボリ問題
- ⑦日本原基地での日米共同訓練について

国が来年度予算要求で同健診へ三分の一を補助する制度を示し、都道府県の補助金もあり得るとの考え方を示していることをあげ、「県としてもこれまでの老人保健による基本健康診査に準じて三分の一の補助をしてはどうか」と問いました。

石井知事は、「県の補助金は、チボリジャパン社が作成した経営改善計画に基づき、県議会の承認をいただいで執行した」旨の答弁をおこない、自らの責任問題をたなあげしました。このような議会に対する不誠実な答弁態度について、議会最終日の本会



障害者の福祉・医療にかかわる陳情は採択を

森脇ひさき県議が討論

森脇県議はまず、「テロ対策特別措置法の延長に反対する意見書を提出すること」を求める陳情について、テロに対して報復戦争という手段で対応したことが根本から間違っていること、海外での米軍の戦争を支援することは日本国憲法に違反していることを指摘し、採択するよう求めました。

めの法改正を国に求める「陳情についても、高梁・新見圏域、真庭圏域、津山・英田圏

次に、障害者自立支援法の応益負担をなくすよう国に求め、岡山県の心身障害者医療費公費負担制度を見直すことを求める三つの陳情について、障害者運動に携わってきた立場から四つの角度にわたって理由を詳細に述べ、採択するよう求めました。
「医師・看護師などを大幅に増員するた

第29回岡山赤旗まつり

弁士は市田書記局長

十月二十一日の岡山 共産党の市田忠義書記長 赤旗まつりでは、日本 局長が記念講演します。



◎10月21日(日) 午前10時～
◎岡山市の県総合グラウンド スポーツの森広場

主な請願・陳情の結果

9月定例県議会には、議案21件が提出されました。日本共産党は、他党派と同様に全ての議案に賛成しました。

【請願・陳情】	共産	自民	民進	公明	結果
テロ対策特別措置法の延長に反対する意見書を提出することについて (時代をきりひらく平和憲法の会)	○	×	○	×	×
保険でよい歯科医療の実現を求める意見書の採択を求めることについて (岡山県保険医療協会歯科部会)	○	×	○	△	×
医師・看護師などを大幅に増員するための法改正を国に求めることについて (岡山県医療労働組合連合会)	○	×	○	△	×
1.心身障害者医療費公費負担制度をもとに戻すことを求めることについて 2.障害者自立支援法の応益負担を廃止することを求めることについて (障害者の生活と権利を守る岡山県連絡協議会)	○	×	○	△	×
外来にかかわる医療費を助成し、患者負担の軽減を図ることについて (林友の会)	○	×	○	○	×
政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求めることについて (NPO法人市民オンブズマンおかやま)	○	△	○	○	△
政務調査費に関することについて (民主県政をつくるみんなの会)(市民本位の市政をつくる会)	○	△	○	△	△

※ ○採択、×不採択、△継続

県民の運動と参院選の結果を受けて、民主、公明に前向きの変化

その一例が、市民オンブズマンの「政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求める」陳情に対する態度です。今年一月議会では、わが党だけが「採択」で、民主、公明ともに「継続」を主張。六月議会では民主が「採択」、公明が「継続」。そしてこの九月議会では民主、公明とも「採択」に変わりました。もう一例は、林友の会の「外来にかかわる医療費を助成し、患者負担の軽減」を求める陳情です。昨年十二月議会では民主、公明ともに「継続」を主張。今年六月議会では民主が「採択」、公明が「継続」を主張。それがこの九月議会では公明も「採択」に変わりました。

域には産科病院がなく、高梁・新見圏域には産科診療所もないという岡山県内の産科医不足の深刻な実態を紹介し、採択するよう求めました。
最後に、「政務調査費収支報告書に領収書等の添付を求める」陳情について、岡山市、倉敷市、玉野市など県内十五市のうち十三市で領収書添付が決まっていること、中国地方五県で領収書添付を決めていないのは岡山県と広島県だけになっていることなどをあげ、岡山県議会としても直ちに領収書の添付に踏み切るためにも採択するよう強く求めました。



日本原での日米共同訓練の危険な内容

— 武田英夫県議のブログ(九月九日)より —

今年も日本原自衛隊演習場で日米共同訓練が行われることが明らかになった。昨年(の二月)に続くものだが、現在発表されている資料からでも、昨年とは根本的に異なる危険な訓練であることが推測できる。

米軍から参加する部隊は米第三海兵遠征軍第三十一海兵遠征部隊で、イラク侵攻の主力部隊として実戦に携わっている現役部隊である。あの残酷なフアルージャ総攻撃に参加していた部隊でもある。米軍の規模も前回の三十人から今回は二百五十人、期間も前回の一週間から二週間となっている。

さらに演習内容も前回の雪中訓練や都市型施設での実弾演習だけではなく、ヘリボーン訓練、特殊武器防護訓練、山地戦闘訓練など実戦さながらの訓練

が予定されている。

前回も日本原で大規模な反対集会を行った「日本原演習場等日米共同訓練反対岡山県連絡会」はさっそく九月七日に県当局や津山市などに「地方自治体としても反対の声をあげるように」という申し入れをおこなった。

県当局としては「住民の安全の確保の立場から注視していく」との答え。もちろんそれは当然だが、私を感じている危険性は、昨年も指摘したが、昨年日本原が日米地位協定第二條四項Bに指定されたことで、こうした訓練が常態化することである。

郷土岡山がアメリカの世界侵攻の恒常的な訓練場所になることはあってはならない。

九月定例県議会では、倉敷チボリ問題に関して、特に一般質問において活発な議論が繰り広げられました。一部自民党議員からさえも「閉園」を求める声があがった一方で、「事業の継続」を前提とし「県税投入をやめよ」の一言もない民主・県民クラブの知事寄りの姿勢が目立った議論戦でした。

九月議会を通じて明らかになったこと、ならなかったことは概ね以下の通りです。

明らかになったこと

① これ以上県主体でチボリを支えることはしない。つまり、県は、チボリを支えるうえで最大のネックとなっているクラボウへの地代(年間六億円)にこれ以上の県税を投入することは困難だということ認識であること。

② 県としては、地代負担も含め、倉敷市において市民の公園としての活用を検討して欲しいと考え、市長に要請したこと。

③ つまり、倉敷市が知事の要請を断れば、土地代を負担する者がいなくなるため、県はクラボウとの契約を解消するかどうかの判断を迫られるということ。

明らかにならなかったこと

三百十四億円もの県税をつぎ込んだにもかかわらず、わずか十年でここまで深刻な事態を招いた県と石井知事の責任問題。

県を追い詰めた「税金投入するな」の論戦と県民運動

石井知事が県主体の事業継続断念を決めた背景には、チボリジャパン社の深刻な経営破綻とデンマーク・チボリ社との契約交渉が決裂してチボリの名称が使えなくなったことがあります。同時に、チボリ推進でも

「オール与党」であった県議会のなかであって、わが党だけが県民運動と協力して「レジャーランドに税金を投入するな」の声を一貫してあげ続け、それが次第に県民世論を動かしたことも大きな役割を果たしました。

倉敷チボリ 知事、県主体の事業継続を断念



倉敷チボリ公園



9月21日の昼におこなわれた県庁包囲デモ



21日の夜、倉敷市で開催された集会で報告する赤坂県議



27日に、倉敷市議団とともに県へ申し入れ

2007年10～12月の議会日程(予定) — 委員会の積極的な視聴を —

10月15日(月)	各常任委員会	10時30分～
10月25日(木)	各常任委員会	10時30分～
11月15日(木)	各常任委員会	10時30分～
11月21日(水)	各常任委員会	10時30分～
11月22日(木)	決算特別委員会	10時30分～
	行財政改革・道州制特別委員会	10時30分～
	子ども応援特別委員会	10時30分～
	地域振興・団塊世代特別委員会	13時～
11月26日(日)	文化振興・環境対策特別委員会	13時～
	議会運営委員会	10時30分～
12月17日(月)	決算特別委員会	10時30分～
	行財政改革・道州制特別委員会	10時30分～
	子ども応援特別委員会	10時30分～
	地域振興・団塊世代特別委員会	13時～
12月18日(火)	文化振興・環境対策特別委員会	13時～
	各常任委員会	10時30分～
12月20日(木)	議会運営委員会	10時30分～

12月定例県議会は、12月3日開会、12月21日開会の予定。代表質問は6・7日、一般質問は11・12・13日(14日は予備日)の予定。日本共産党からは、武田英夫県議が一般質問、赤坂てる子県議が討論に立つ予定です。なお、請願・陳情の受付締め切りは12月5日です。

「日本原日米共同訓練反対集会」

11月11日(日) 12:00～13:00 集会後デモ行進 奈義町

主催：日本原日米共同訓練反対岡山県連絡会

(0866122110133)

倉敷チボリにつぎ込まれた県の税金(県の発表)

1. 建設費	161億4000万円
①建設費	148億4100万円(基盤整備費、建築・設備工事費等)
②開業前費用	12億9900万円(開業前地代、移転補償費等)
2. 出資金	20億円
3. 地代	52億7900万円
4. 事業費補助	72億2500万円(補助金)
5. その他	7億4900万円(アンデルセンシアターの運営委託等)
合計	313億9300万円

※知事は、延べ1700万人の入場者が訪れたことを自慢しています。しかし、単純計算で1人の入場者につき1,850円の県税がつぎ込まれたことになります。